2026年３月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年２月13日

上場会社名　株式会社ハーバー研究所　上場取引所　東
コード番号　4925　ＵＲＬ　https://haba-lab.jp
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）西　幹男
問合せ先責任者　（役職名）取締役財務・経理部担当　（氏名）高崎　明彦　ＴＥＬ　03-5296-6250
配当支払開始予定日　－
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無　：無

（百万円未満切捨て）

１．2026年３月期第３四半期の連結業績（2025年４月１日～2025年12月31日）

（１）連結経営成績（累計）　（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年３月期第３四半期	8,719	1.3	513	132.4	501	112.5	318	44.2
2025年３月期第３四半期	8,610	△0.3	221	－	236	－	220	－

（注）包括利益　2026年３月期第３四半期　318百万円（47.7％）　2025年３月期第３四半期　215百万円（－％）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年３月期第３四半期	84.24	－
2025年３月期第３四半期	58.42	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年３月期第３四半期	12,245	9,094	74.3
2025年３月期	12,344	8,927	72.3

（参考）自己資本　2026年３月期第３四半期　9,094百万円　2025年３月期　8,927百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年３月期	－	0.00	－	40.00	40.00
2026年３月期	－	0.00	－		
2026年３月期（予想）				40.00	40.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2026年３月期の連結業績予想（2025年４月１日～2026年３月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,550	4.0	500	△15.2	490	△19.5	480	△16.7	126.93

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

新規　－社　（社名）－、除外　－社　（社名）－

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料９ページ「２．四半期連結財務諸表及び主な注記（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無

②　①以外の会計方針の変更　：無

③　会計上の見積りの変更　：無

④　修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年３月期３Ｑ	3,935,000株	2025年３月期	3,935,000株
②　期末自己株式数	2026年３月期３Ｑ	153,520株	2025年３月期	153,520株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年３月期３Ｑ	3,781,480株	2025年３月期３Ｑ	3,781,519株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料４ページ「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2

（１）当四半期の経営成績の概況 …… 2

（２）当四半期の財政状態の概況 …… 4

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4

２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 5

（１）四半期連結貸借対照表 …… 5

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7

四半期連結損益計算書 …… 7

四半期連結包括利益計算書 …… 8

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 9

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記） …… 9

（四半期連結損益計算書に関する注記） …… 9

（セグメント情報等の注記） …… 9

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9

（継続企業の前提に関する注記） …… 9

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 9

（追加情報） …… 10

１．経営成績等の概況

（１）当四半期の経営成績の概況

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果もあって、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、米国の通商政策の動向や継続する物価上昇が個人消費に及ぼす影響などが懸念され、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経済環境の下、当第３四半期連結累計期間の当社グループ連結売上高は、8,719,248千円（前年同期比1.3％増）となりました。当社グループの販売ルート別売上では、主力事業である通信販売事業（ＥＣを含む）において、プレミアム層（ポイントステージ：ダイヤモンド会員・プラチナ会員）の売上は前年同期比で増加したものの、新規顧客獲得数の減少に伴うベーシック層（同ステージ：フレンド会員・スタンダード会員）の売上減少が響き、4,851,872千円（前年同期比3.5％減）となりました。店舗販売事業（百貨店向卸売・直営店）では、前期から進めている不採算店舗の整理・閉鎖により、直営店の売上が337,237千円（前年同期比21.8％減）となりましたが、百貨店向卸売においては、インバウンド需要の回復により売上が全体では1,241,594千円（前年同期比8.1％増）となりました。その他卸売事業（国内卸売事業・海外卸売事業）では、国内では主要取引先の店舗閉鎖や大口受注の減少により売上が減少した一方、海外では2025年４月より中国代理店を１社に集約したことにより販売効率が向上し、中国向け出荷量が大幅に増加した結果、2,288,093千円（前年同期比14.2％増）となりました。

また、品目別売上では、化粧品全体として前年同期比0.9％の増収となりましたが、基礎化粧品は5,523,404千円（前年同期比0.2％減）、メイクアップ化粧品は756,929千円（前年同期比4.3％減）、トイレタリーは476,860千円（前年同期比7.3％減）となりました。一方、健康食品・雑貨等の売上においては1,789,686千円（前年同期比2.8％増）となりました。

売上原価は、2,871,433千円（前年同期比4.6％増）となりました。販売費及び一般管理費は、広告宣伝・販売促進費が1,823,649千円（前年同期比7.1％減）、その他経費が3,510,429千円（前年同期比4.7％減）、合計で5,334,077千円（前年同期比5.5％減）となりました。

これらの結果、営業利益は513,737千円（前年同期比132.4％増）、経常利益は501,836千円（前年同期比112.5％増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は318,562千円（前年同期比44.2％増）となっております。

こうした環境下において、当社グループでは「第２次中期経営計画（2026年３月期～2028年３月期）」に基づき、2026年３月期の重点課題に取り組んでおります。

[第２次中期経営計画に基づく施策]

（基盤強化）

①人的資本の強化

②収益構造の改善

（事業拡大）

③製品開発の強化

④顧客接点の拡大

[2026年３月期 重点課題と進捗]

①店舗販売事業改善策の継続推進

・不採算店舗の閉店による収益性の向上…第３四半期までに４店舗をクローズ

・好立地店舗の強化・刷新…第４四半期に３店舗を移転・リニューアル予定

・インバウンド需要への対応…海外人気商材の限定販売や百貨店との協業による外商施策の強化

②新規顧客の基本施策見直し

・新規獲得商材の充実…市場ニーズの高いヘアオイル、スキンケアパウダーなどの新規商材を投入

・Ｆ２転換（２回目購入・継続）フローの構築…顧客接点のあり方を見直し、転換率が上昇

③クラブハーバー制度の改定

・ミドル層（ポイントステージ：ゴールド会員・サファイア会員）～ベーシック層（同ステージ：フレンド会員・スタンダード会員）の稼働向上…クラブハーバー制度（ポイントステージ）改定によるＬＴＶ（顧客生涯価値）の向上

・プレミアム層の継続フォロー

なお、機能性表示食品『ビフィズスミックスＷ』を2025年４月21日に、美容ケアサプリメント、粉末タイプの『みちぷる スティック（コラーゲン＆大豆イソフラボン）』、ドリンクタイプの『みちぷる リッチ（コラーゲン＆プラセンタ）』を同年９月19日に新発売いたしました。また、体の健康維持に必要な脂溶性ビタミン３種（ビタミンＥ・ビタミンＡ・ビタミンＤ）を手軽に補える栄養機能食品『Ｅ×Ａ×Ｄ(イーバイエーバイディー)』及び現代人の目の健康をサポートする５つの機能を兼ね備えた機能性表示食品に『明々源』をリニューアルし、2026年２月19日より発売いたします。

さらに、新たな取組みとして、当社ブランドの持続的な成長を見据え、ミレニアル世代（30～40代）への認知度向上施策を推進しております。具体的には、ＴＶ離れ世代（Ｚ世代～ミレニアル世代）に話題のクリエイター集団「こねこフィルム」（2025年12月21日時点の総フォロワー数500万人）とコラボレーションし、縦型ショートドラマ（全４話）を制作。第１弾『萬田久子』を2025年９月18日より、第２弾『大女優VS本物』を同年10月16日より、第３弾『変身 前編』を同年11月13日より、第４弾『変身 後編』を同年12月４日より各種ＳＮＳで配信し、全４話の総再生回数2,400万回（2025年12月22日時点）を記録しました。2026年１月２日より、全４話を一挙配信しております。さらには、お笑いコンビ「ニッチェ」の江上敬子さんが親子で出演する縦型ショート動画『＃スクワランチャレンジ』を2025年11月28日より公開するなどし、ＴＶ離れ世代への認知度向上と新規顧客獲得の基盤強化を図りました。

また、2026年３月１日より、同世代をターゲットにセルフ店専用のシートマスク『スクワランマスク アクアチューニング』を全国のロフト、@cosme SHOPPINGにて順次販売を開始いたします。今後、バラエティショップ、ドラッグストア、ＥＣモールなどで、順次販路を拡大していく予定です。

品目別売上　（単位：千円）

区分		前第３四半期連結累計期間（自　2024年４月１日　至　2024年12月31日）		当第３四半期連結累計期間（自　2025年４月１日　至　2025年12月31日）		増減額	増減率
		金額	構成比	金額	構成比		
			%		%		%
化粧品	基礎化粧品	5,534,108	64.3	5,523,404	63.4	△10,703	△0.2
	メイクアップ化粧品	790,772	9.2	756,929	8.7	△33,843	△4.3
	トイレタリー	514,419	6.0	476,860	5.4	△37,558	△7.3
	その他（注）１	30,108	0.3	171,915	2.0	141,806	471.0
	小計	6,869,409	79.8	6,929,110	79.5	59,701	0.9
健康食品・雑貨等		1,740,891	20.2	1,789,686	20.5	48,795	2.8
化粧品・健康食品等 小計		8,610,300	100.0	8,718,797	100.0	108,496	1.3
その他（注）２		130	0.0	451	0.0	321	246.9
合計		8,610,430	100.0	8,719,248	100.0	108,817	1.3

（注）１．期間を限定して提供するキャンペーンセット品等が主なものです。
（注）２．カルチャーセンター等の売上が主なものです。

販売ルート別売上　（単位：千円）

区分		前第３四半期連結累計期間（自　2024年４月１日　至　2024年12月31日）		当第３四半期連結累計期間（自　2025年４月１日　至　2025年12月31日）		増減額	増減率
		金額	構成比	金額	構成比		
			%		%		%
販　売ルート	通信販売（ＥＣ含む）	5,027,410	58.4	4,851,872	55.7	△175,537	△3.5
	百貨店向卸売	1,148,467	13.3	1,241,594	14.2	93,126	8.1
	その他卸売	2,003,241	23.3	2,288,093	26.2	284,851	14.2
	直営店	431,180	5.0	337,237	3.9	△93,943	△21.8
	合計	8,610,300	100.0	8,718,797	100.0	108,496	1.3

（注）上記の合計表は、「品目別売上」の「化粧品・健康食品等　小計」売上に対して記載しています。

（２）当四半期の財政状態の概況

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比較して1,100千円増加し、9,036,596千円となりました。これは主に、現金及び預金及び未収消費税が増加したものの、売掛金が減少したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比較して99,804千円減少し、3,209,039千円となりました。これは主に、有形固定資産及び差入保証金が減少したことによるものです。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比較して331,815千円減少し、2,326,729千円となりました。これは主に、買掛金及び契約負債が増加したものの、短期借入金及び未払消費税等が減少したことによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比較して65,807千円増加し、824,487千円となりました。これは主に、繰延税金負債が増加したことによるものです。

（純資産）

純資産は、前連結会計年度末に比較して167,303千円増加し、9,094,419千円となりました。これは主に、利益剰余金が増加したことによるものです。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年３月期の業績予想につきましては、2025年５月９日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年３月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,743,538	4,824,571
売掛金	1,208,166	1,094,988
商品及び製品	1,397,593	1,499,578
仕掛品	35,256	38,989
原材料及び貯蔵品	1,488,482	1,399,906
その他	174,918	192,446
貸倒引当金	△12,460	△13,884
流動資産合計	9,035,495	9,036,596
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,601,584	4,572,475
減価償却累計額	△2,914,599	△2,966,111
建物及び構築物（純額）	1,686,984	1,606,363
機械装置及び運搬具	1,654,347	1,658,426
減価償却累計額	△1,576,505	△1,588,605
機械装置及び運搬具（純額）	77,842	69,820
工具、器具及び備品	1,005,187	992,580
減価償却累計額	△981,447	△952,282
工具、器具及び備品（純額）	23,739	40,298
土地	1,181,357	1,181,357
有形固定資産合計	2,969,925	2,897,840
無形固定資産		
ソフトウエア	93,448	84,100
その他	0	0
無形固定資産合計	93,448	84,100
投資その他の資産		
繰延税金資産	58,646	54,214
差入保証金	168,469	150,076
その他	18,355	22,807
投資その他の資産合計	245,471	227,098
固定資産合計	3,308,844	3,209,039
資産合計	12,344,340	12,245,636

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2025年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （2025年12月31日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	236,869	296,061
短期借入金	500,000	200,000
１年内返済予定の長期借入金	589,208	511,266
未払金	671,987	667,144
未払法人税等	75,496	125,102
未払消費税等	195,740	24,836
契約負債	298,811	323,033
その他	90,432	179,285
流動負債合計	2,658,545	2,326,729
固定負債		
長期借入金	727,722	749,932
繰延税金負債	2,583	45,170
その他	28,374	29,385
固定負債合計	758,679	824,487
負債合計	3,417,224	3,151,216
純資産の部		
株主資本		
資本金	696,450	696,450
資本剰余金	812,570	812,570
利益剰余金	8,554,110	8,721,413
自己株式	△1,136,014	△1,136,014
株主資本合計	8,927,115	9,094,419
純資産合計	8,927,115	9,094,419
負債純資産合計	12,344,340	12,245,636

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2024年４月１日 至　2024年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年12月31日）
売上高	8,610,430	8,719,248
売上原価	2,743,950	2,871,433
売上総利益	5,866,480	5,847,815
販売費及び一般管理費	5,645,399	5,334,077
営業利益	221,081	513,737
営業外収益		
受取利息	68	858
受取配当金	308	－
受取賃貸料	621	621
助成金収入	21,238	6,407
その他	5,247	2,415
営業外収益合計	27,485	10,302
営業外費用		
支払利息	12,213	12,586
減価償却費	－	9,462
その他	142	154
営業外費用合計	12,356	22,203
経常利益	236,210	501,836
特別利益		
固定資産売却益	99	－
投資有価証券売却益	7,837	－
資産除去債務戻入益	※１ 19,280	－
特別利益合計	27,217	－
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	185	499
投資有価証券売却損	290	－
特別損失合計	475	499
税金等調整前四半期純利益	262,951	501,337
法人税、住民税及び事業税	74,713	135,756
法人税等調整額	△32,663	47,018
法人税等合計	42,049	182,774
四半期純利益	220,902	318,562
親会社株主に帰属する四半期純利益	220,902	318,562

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2024年４月１日 至　2024年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年12月31日）
四半期純利益	220,902	318,562
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,216	－
その他の包括利益合計	△5,216	－
四半期包括利益	215,685	318,562
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	215,685	318,562
非支配株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

税金費用の計算

一部の連結子会社においては、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

（四半期連結損益計算書に関する注記）

※１　資産除去債務戻入益

前第３四半期連結累計期間（自　2024年４月１日　至　2024年12月31日）

賃貸オフィスにおいて、契約時より原状回復費用の発生に備え計上しておりました資産除去債務について、移転時に賃貸人と原状回復義務を免除する契約を締結したことに伴い、その戻し入れを行ったことによるものであります。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

前第３四半期連結累計期間（自2024年４月１日　至2024年12月31日）及び当第３四半期連結累計期間（自2025年４月１日　至2025年12月31日）

当社グループは、化粧品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しています。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりです。

	前第３四半期連結累計期間 （自　2024年４月１日 至　2024年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年12月31日）
減価償却費	109,483千円	138,428千円

（追加情報）

（連結子会社の吸収合併）

当社は、2025年11月14日開催の取締役会において、当社の100%出資連結子会社であるハーバーコスメティクス株式会社を2026年４月１日をもって吸収合併することを決議し、同日付けで同社と合併契約を締結いたしました。

（１）取引の概要

①結合当事企業の名称及び事業の内容

結合当事企業の名称 ハーバーコスメティクス株式会社

事業の内容 商品の梱包、配送請負業務

②企業結合日

2026年４月１日（予定）

③企業結合の法的形式

当社を存続会社とし、ハーバーコスメティクス株式会社を消滅会社とする吸収合併

④結合後企業の名称

株式会社ハーバー研究所

⑤その他取引の概要に関する事項

当社グループにおける化粧品及び健康食品の物流から販売までの業務運営を一層効率化し、経営基盤を強化するとともに経営資源を有効活用することを目的として、ハーバーコスメティクス株式会社を吸収合併することといたしました。

（２）会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 2019年１月16日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 2024年９月13日）に基づき、共通支配下の取引として処理を行う予定であります。

（連結子会社における固定資産の譲渡）

当社は、2025年12月17日開催の取締役会において、当社の100%出資連結子会社であるハーバー株式会社が保有する固定資産（土地・建物・機械設備など）について、譲渡することを決議いたしました。

（１）譲渡の目的

経営資源の集中及び財務体質の強化を図るため、譲渡することといたしました。

（２）当該事象の内容

（固定資産譲渡の内容）

契約締結日：2025年12月23日

譲渡物件　：長野県小諸市大字御影新田2652番１

現況　　　：操業休止中

譲渡益　　：128百万円

引渡予定日：2026年３月25日（予定）

（３）当該事象の連結損益に与える影響額

当該固定資産の譲渡に伴い、2026年３月期連結決算において、固定資産売却益128百万円を特別利益に計上する予定であります。